

2018年度事業計画書

NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会

1 事業実施の方針

(1) 自然環境の調査研究事業

環境省のモニタリング1000里地調査も11年目となり、引き続き里山保全整備や気象等の環境の影響をモニタリングするとともに、新たに調査結果を関係者と共有することにより適切な里山保全を進める。

(2) 自然環境保全に係る普及啓発事業

東谷津トラスト保全地への看板設置やそのパンフレットの作成を行い、保全の意義をPRする。毎月の「ふる里散歩」（定例自然観察会）は、観察用具の充実を図るほか、ビジターセンター機能を併設してリニューアルした市立博物館を集合場所として、自然観察拠点として連携を図る。会報「やませみ」の作成配布、子どもたちへの自然環境教育、飯能市の「はんのう環境フェスタ2018」への参加、ホームページ、Facebook等による情報発信・広報を充実する。

(3) 自然環境の保全事業

拡大した東谷津トラスト地での笹藪の刈り払いや植樹、水辺整備などの里山保全再生を図るほか、作業小屋の修理等を行う。はんのう市民環境会議の「天覧山谷津里づくりプロジェクト」への参画、アライグマなど外来種の駆除を進め、より生物多様性を高めるとともに市民が楽しめる里山保全を進める。

(4) 里山文化の再生・創造事業

東谷津トラスト保全地の市民開放に向けた整備を進め、里山バザール、里山整備イベント、エコツアーなど積極的な里山の魅力発信に努める。多目的石窯の活用、キノコ栽培等を進め、多くの会員が東谷津の施設の活用をはかれるよう努める。

(5) 自然環境保全に係る企画提案事業

天覧山・多峯主山一帯についての保全方向をまとめた「天・多の森構想」を行政や関係団体・企業へ提案し合意形成を図る。また、市エコツーリズム事業、はんのう市民環境会議、懇話会などの場を活用して他の市民団体との連携を深め、効果的な事業展開を図る。

(6) NPOの体制強化

経理処理等の体制を強化していく。

2 事業の実施に関する事項（2018年4月1日～2019年3月31日）

定款の事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者 予定人数	受益対象者の 範囲・予定人数	支出見込額 (千円)
自然環境の調査研究事業	環境省モニタリング1000里地調査	通年	天覧山周辺	35人	全国	—
自然環境保全に係る普及啓発事業	ふる里散歩	通年	天覧山周辺	36人	市民	140人
	会報「やませみ」等作成配布(75-76号)	6.1月	市内	15人	市民	8,000人
	フィールドスコープ等の購入	8月	天覧山周辺	2人	市民	200人
	東谷津PR用看板制作(委託)	11月	市内	2人	市民	500人
	東谷津PR用パンフレット作成(3000部)	11月	市内	6人	市民	3000人
	小学校の総合学習支援	10月	天覧山周辺	6人	児童	80人
	「はんのう環境フェスタ」への参画	6/9	市民活動ゼ	10人	市民	400人
	会活動記録作成準備	通年	市内	10人	市民	—
	HP、Facebook、メーリングリストの運営	通年	ネット上	12人	市民	1万人
自然環境の保全事業	東谷津の保全(固定資産税)	通年	東谷津	—	市民	—
	天覧山谷津里づくりプロジェクト(月1回)	通年	天覧山谷津	50人	市民	300人
	アライグマ捕獲器購入	通年	天覧山周辺	2人	市民	—
	作業用器具整備(チェーンソー、長靴)	9月	東谷津	2人	市民	40人
	作業小屋の修理など	通年	東谷津	50人	市民	40人
	東谷津保全作業(月2回)	通年	東谷津	120人	市民	40人
里山文化の再生・創造事業	薪割りエコツアーの開催	3月	東谷津	10人	市民	15人
	てんた里山バザール	10/7	東谷津	10人	市民	100人
	里山整備イベント	12/9	東谷津	10人	市民	20人
	東谷津トラスト地の市民利用	通年	東谷津	3人	市民	30人
自然環境保全に係る企画提案事業	飯能市エコツーリズム事業への参画	通年	東谷津	5人	市民	100人
	はんのう市民環境会議等への参画	通年	東谷津	12人	市民	400人
	市・西武鉄道等との懇話会の開催	通年	東谷津	10人	市民	30人

